様式第１号（第７条関係）

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

6 年 9 月 25 日

和泉市長　あて

団体名　いずみこどもＡＩＤ

代表者名　北野　美香　　増田　千英美

所 在 地　和泉市光明台 2-4-23

電話番号　090-6730-9653

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第７条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事 業 名	学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場 「CoCo de おしゃべり」
申請コース	（１）公益活動支援コース □チャレンジコース　■ステップアップコース （２）地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	203,840 円 （うち、対象経費 203,840 円）
支 援 金 交付申請額	101,000 円

１．添付資料
（１）団体概要調書（様式第２号）
（２）規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
（３）事業計画書（様式第３号）
（４）収支予算書（様式第４号）
（５）その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第２号（第７条関係）

団体概要調書

フリガナ	イズミコドモエイド		
団体名	いずみこどもＡＩＤ		
団体の目的	こどもが安心できる環境づくり		
市内事務所の所在地	〒594-1111 和泉市光明台２－４－２３ 【専用事務所　・　住居と兼用　・　その他（　　　　　　）】		
	電　話	090（6730）9653	ＦＡＸ　（　　）
フリガナ	キタノ　ミカ		
代表者氏名	北野　美香		
連絡先 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	（連絡責任者氏名）※ フリガナ [redacted] [redacted]	電　話	[redacted]
		ＦＡＸ	[redacted]
	（住所）上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設立年月	平成 18 年４月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有（　　　回発行）・無	会員数	52 人
メールアドレス	[redacted]		
ホームページ	http://izumi-kodomo-aid.org/ ブログ http://ameblo.jp/cocoizumi2014/		
主な事業内容	・チャイルドライン事業 ・こどもの居場所事業		
主な活動の実績	平成 12 年　チャイルドラインいずみ運営委員会発足 平成 18 年　チャイルドラインいずみ AID 設立 市と協働でチャイルドラインいずみの運営 平成 26 年　いずみこども AID に名称変更 平成 26 年９月～　こどもの居場所「CoCo」の運営		
国・府・市及び各種団体等からの他の補助金及び委託実績（過去３年間の実績を記載）	年度	名称	金額（円）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第３号（第７条・第１５条関係）

事業計画書

１　事 業 名	学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場「CoCo de おしゃべり」
２　申請コース	（１）公益活動支援コース □チャレンジコース　　　■ステップアップコース （２）地域活性化コース □地域活性化コース

３　事業の必要性（※別紙添付可）

① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等

不登校のこどもが増加しているにも関わらず、平成 26 年の居場所開設当時、和泉市には家とグリーンルーム（教育センター）しか居場所・行き場所がありませんでした。家から一歩目の場所、家とグリーンルームの中間のような場所をつくろうとやってきて 10 年が経ちました。和泉市内にもフリースクールや居場所がポツポツできてきましたが、まだまだ十分ではないと感じています。

不登校に対する社会の理解は、マスコミ報道などを見ていると広がってきたように感じます。けれどそれは一般論であって、いざ我が子が･･･となるとまだまだどうしていいかわからないという保護者がほとんどではないでしょうか。近くでこどもがちょっと休憩できる場所、保護者がしんどい気持ちを聴いてもらえる場所の必要性はますます高まっているように思います。

こども基本法に「子どもの権利条約」の理念が明記されました。居場所の必要性も謳われています。居場所は休憩したり、遊んだり、学びたいことを学んだりする「こどもの権利保障の場」です。

② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果

〈学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」〉

・自分が大切にされていると体感することで、自己肯定感を育む

・家族以外の人（スタッフ・他のこども）と関わることで、社会性や人との距離感を身につける

・自分の気持ちを大切にしながら自分のペースで過ごすことで、心のエネルギーがチャージされ、自らの力で進みだす

〈学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場「CoCo de おしゃべり」〉

・保護者が自分の気持ちを吐き出すことで気持ちが少し楽になり、その結果、こどもへの関わりによい影響を及ぼす

・保護者が交流の場に参加することで、他の保護者の経験談や不登校に関する情報を得て、子どもとの関わりの手がかりがつかめる

４　事業内容（※別紙添付可）

① 問題点、課題を解決するためにどの様な方法を用いてどの様な事業を実施しますか。

【学校へいきづらいこどもの居場所の開設】「CoCo」

来所したこどもとスタッフが一緒に過ごす。スタッフは、指導や助言をするのではなく、こどもの気持ちに寄り添いながら、こどもが自分の気持ちを大切にして、自分で選んで動いていける環境をつくる。些細なことでも自分で考えて自分で選ぶという自己決定を繰り返す過程や、その結果を尊重してもらえるという体験はそのこどもの自信となり、次のステップに進んでいくことにつながる。（こどもが居場所へ行き、少し距離を持つことで、保護者自身も状況を受けとめる時間ができ、子どもへの理解がすすむと考える）。

一般開放日を設け、興味のある方、地域の方への理解や周知を図る。令和６年度５月より月１回土曜の午後に誰がきてもいい「みんなの居場所」を開設し、より一層地域に根ざした活動としていく。（令和５年度より８月にこどもが楽しめるイベントを開催）

【保護者同士の交流が持てる場の提供】「CoCo de おしゃべり」

学校へいきづらいこどもの保護者が、自分の気持ちを話せる場を設ける。

不定期にゲストを招き、保護者の気付きにつなげる

「CoCo de おしゃべり拡大版」を開催し、当事者の保護者や不登校などのこどもに関する社会課題に関心のある方々の理解を深める。

【その他】スタッフを養成する講座、スタッフの継続研修の実施

② 実施期間（日時）	「CoCo」　毎週火曜日・ 第４土曜日(８月と祝日は除く) 「夏のイベント」　８月中の一日 「CoCo de おしゃべり」　毎月２回(5 月・1 月は 1 回)
③ 実施場所	「CoCo」　和泉市万町　弘法寺内 「CoCo de おしゃべり」　和泉市内公共施設 シティプラザ・北部ﾘｰｼﾞｮﾝｾﾝﾀｰ・南部ﾘｰｼﾞｮﾝｾﾝﾀｰ・人権文化センター
④ 主な対象者	「CoCo」　小学生から 18 歳までのこども 「CoCo de おしゃべり」　学校へいきづらいこどもの保護者
⑤ 参加予定者数	「CoCo」 ・毎週火曜日利用者　最大登録人数５名 ・一般開放日・みんなの CoCo　各回５名程度（定員なし） ・８月プチ縁日　80 名 「CoCo de おしゃべり」５名程度（定員なし）・拡大版　30 名
⑥ 告知方法	ブログ・インスタグラム・メルマガ配信 チラシ配布・広報いずみ掲載・泉北コミュニティ掲載

5　事業スケジュール

次期（月） ４月 ～ ３月	○「CoCo」毎週火曜日（49 回）第４土曜日（10 回） ８月と祝日の火曜、年末年始は休み ８月は、子どもが誰でも参加できるイベントを１回開催 毎月２回（火曜日と土曜日）に１回ずつ一般開放日を設ける ○「CoCo de おしゃべり」（全 22 回） 毎月２回　和泉市内の公共施設で開催（5 月・1 月は月 1 回） 参加人数を増やした拡大版（講演会）の開催 1 回 ○見学・説明会・居場所体験・登録者の保護者との個人懇談会

6　審査項目からみた事業の自己ＰＲ　※要綱別表第２審査基準参照

（実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

①公益性	不登校のこどもは年々増加しており、低年齢化も進んでいます。そこに加えて、不登校未満の行きしぶりのこどもも多数いると思われます。和泉市も例外ではありませんが、不登校の子どもが通える場所は和泉市には教育センターの適応指導教室、民間のフリースクール１件（令和６年 10 月現在）と「CoCo」しかありません。大阪市内まで行くと民間のフリースクールもありますが、高額な費用がかかります。多様化する社会の中で、しんどいと感じるこどもの状況も多様であることから、学校以外の居場所も自分に合うところに通うことが望ましいと考えます。当居場所はそのようなこどもの選択肢の一つとして存在しています。 学校に行きづらいながらも通っているこどもや保護者、活動に興味のある方も来所しやすくなるように、令和６年度から学校が休みの土曜日にも開設することにしました。不登校への理解や不登校への未然防止、SOS の早期発見の一助になればと思います。 社会的に理解が進みかけてきているとはいえ、不登校または学校に行きづらいこどもを持つ保護者は、周りに気持ちを話せる場がなかなかなく、孤立しがちです。保護者が情報共有や気持ちを受けとめてもらえる場に参加することで、つながりを得て保護者自信が少し楽になり、その結果、こどもの気持ちの受けとめ方や声かけにも変化が現われ、子どもにも良い影響が及ぶと考えます。また、親戚や知人ではなく、全く知らない人にだからこそ話せる事もあるのではないかと考えます。
②継続性	学校以外でもフリースクールや塾、習い事なども居場所となりますが、費用がかかります。「CoCo」では、家庭の経済状況に関わらず「学ぶ権利」「休む権利」「遊ぶ権利」を保障する場を作りたいと考えています。そのため、利用者からは登録費（保険代含む）のみとし、補助金やさまざまな方のご支援などで運営資金を調達しています。

	学校以外の居場所や学校に行かないこどもを持つ保護者同士が交流できる場はまだまだ少ない状況であるため、本事業を継続し周知していくことで、子ども本人やしんどさを一人で抱えている保護者にも浸透させていきたいと考えています。
③実行性	平成 26 年から居場所を運営し、約 15 名のスタッフが子どもと関わっていきます。多くの人と関わりを持つことで、価値観や距離感の違いを感じてもらうことができるのではないかと考えています。 保護者交流会は平成 27 年から実施し、スタッフ 2 名体制で当日の運営をしています。近くで開催されるならちょっと行ってみようかと思う人もいるのではないかと考え、令和元年より市内公共施設の 4 カ所を順に巡るように開催しています。公共施設は駐車場の心配もなく、参加しやすいように思います。不定期で、子ども支援に関わる方をゲストに迎え、専門的助言や気づきを得る機会を持っています。2023 年度より、平日午前中仕事の保護者も参加しやすくなるよう、土曜午後と平日夜にも開催しています。
④協働性	不登校または学校に行きづらくなることは誰にでも起こりえます。今はそうでなくてもこのような居場所があることを知っておいてもらいたいと考え、公共施設へのチラシ配架やポスティングなどで周知に努めています。また、令和 5 年度令和 6 年度は 8 月下旬に「プチ縁日」を開催し、地域のこどもや保護者の参加が多くありました。「CoCo」で知り合った保護者が、その後も交流を続けているということもよく聞いています。また、こどもに関わるさまざまな団体やコミュニティソーシャルワーカー(以下 CSW)さんとのつながりを持ち、事業の周知や交流を図っています。CSW さんは一般開放に見学に来ていただきました。また和泉中央のフリースクールさんとの連携も必要だと考えております。最近和泉市内でも保護者交流会を開催している方も増えてきました。その方々とも対話の機会や SNS でのつながり、チラシを交換するなどの連携があり、保護者がいずれかの交流会に参加することで、他の団体の情報も得ることができます。選択肢が多くあること、運営側でのつながりがあることを知ってもらうことは、保護者の安心感や、孤独感の軽減につながっています。
⑤公開性	チラシを作成し、市役所や市内公共施設に配架。和泉市教育センターより市内小中学校へチラシを送付しています。広報いずみや泉北コミュニティにも掲載して周知を図っています。月１回のメルマガ配信やブログ、インスタを通して、活動の様子が伝わるよう努めています。 毎月（火曜日と土曜日）1 回ずつ一般開放日として設け、学校に行きづらいこどもだけでなく、誰でも CoCo に来訪できるようにし、理解と周知に努めています。
⑥発展性（先駆性・展開性）（集客性）	不登校は年々増加しているにも関わらず、その対応はなかなか進んでいっていないのが現状です。保護者だけで、または教師だけで抱えるのではなく、地域や関係者みんなが連携して、今のその子どもに適した環境を提供していくのが望ましいと考えています。この事業を始めた頃に比べて、社会の不登校に対する理解も少し進んで来たように思います。また、当事者の保護者による親の会もいくつもできてきました。けれど、保護者の仕事や経済面が理由で、誰ともつながれずにいるこどもや保護者はまだまだいると考えます。その人たちに、どうしたら「CoCo」の存在を伝えられるのか、どうしたら行ってみようと思ってもらえるのか、この課題に対して開設当初から試行錯誤を繰り返しています。 不登校は、一時的な場合もあれば、長期に渡る場合もあります。こどもの気持ちを大切にした居場所として、「CoCo」はその選択肢の一つとして在り続けたいと思います。また、おしゃべりの場で、保護者の喜びや不安、しんどさに寄り添っていきたいと考えています。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第４号（第７条・第１５条関係）

収支予算書

事業の名称：学校へいきづらいこどもの居場所「CoCo」
学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場「CoCo de おしゃべり」

１．【収　入】　（単位：円）

項　目	金　額	積算根拠
支援金	101,000 円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	5,000 円	子ども登録費用　1,000×5 人
自主財源	97,840 円	寄付、団体会計
合　計	203,840 円	

２．【支　出】　（単位：円）

費　目	金　額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	20,000 円	おしゃべり講師謝礼(5,000 円×4 回)
旅費	2,400 円	駐車場代 100 円×2 人×12 回 （おしゃべり有料駐車場の施設）
消耗品費	50,000 円	チラシ用A４カラー用紙　会議資料用A４コピー紙　3,500 円 会議資料印刷インキ代　1,500 円 衛生用品（キッチン・トイレ・感染症対策）　5,000 円 居場所イベントデー製作材料費・食材費 1,000×11 回　11,000 円 夏のイベント食材費　夏のイベント製作・材料費　20,000 円 土曜日一般開放　製作・食材費　1,000×９回
食糧費	600 円	おしゃべり講師お茶代　150 円×4 回分
印刷製本費	9,000 円	チラシ印刷（カラーＡ４両面 700 枚）7,000 円 コピー代（カレンダーA4 カラー、チラシ掲示用拡大A３）2,000 円
役務費	12,560 円	書類郵送料(カレンダー110 円X3 人X12)　3,960 円 保険料 800 円×５名(子ども)　4,000 円 保険料 800 円×５名(スタッフ)　4,000 円 夏のイベント保険代　600 円
使用料及び賃借料	109,280円	シティプラザ(AM)　1760 円×6＝10,560 円 北部リージョン(AM)　2100 円×5＝10,500 円 南部リージョン(AM)　1150 円×5＝ 5,750 円 人文センター(PM)　1870 円×5＝ 9,350 円 人文センター(PM・拡大版)　１回　3,120 円 弘法寺（こどもの居場所 CoCo）　55,000 円 弘法寺(土曜日・夏のイベント)　15,000 円
合　計	203,840 円	
対象経費	203,840 円	

※費目は、別表第３（第１０条関係）に記載されているとおりに記載してください。
※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。